

(様式1号)

## 信州木材製品認証申請書

平成 年 月 日

信州木材認証製品センター理事長 殿

住 所  
名 称  
代表者氏名  
TEL / FAX

印

信州木材認証製品として認証していただきたいので、下記のとおり関係書類等を添えて申請します。

## 記

## 1 認証対象品目

製品の種類(認証対象品目)	樹 種	数量(m <sup>3</sup> 、m <sup>2</sup> )
針葉樹構造用製材：乙種構造材(柱等縦使い)		
針葉樹構造用製材：甲種構造材(梁、桁等横使い)		
針葉樹造作用製材(敷居、鴨居等造作)		
針葉樹造作用製材(壁板：仕上げ材のみを対象、家具用原板)		
集成材		
フローリング		
家具、建具、小木工品		
針葉樹接着重ね梁		
その他 針葉樹下地材		
〃 針葉樹デッキ材		

## 2 製品出荷予定日

平成 年 月 日

## 3 出荷責任者氏名

## 4 検査を受ける場所の所在地及び名称

## 5 証明書の発行

要 ( 部 ) ・ 不要

## 6 添付書類

(1) 別 表

(2) 出荷製品明細書

(3) 長野県産材証明書(様式1-1号)又は、県産間伐材供給センター協議会の発行する産地証明書等、証明できるもの。

県産間伐材供給センター協議会(TEL:026-226-2504)

(別 表)

認証申請する 製品の名称及 び規格、数量	名称(部材名)	樹種名	規 格	数 量	
備考：					
認証申請する 目的・名称等	目 的：				
	工事名称：				
	工事場所：				
認証申請する 製品の出荷先 業者名	業 者 名：				
	所 在 地：				
施工業者					
J A S 認 定	種 類		登録番号	登録年月日	
				年 月 日	
				年 月 日	
認証申請する 製品が自社製 造でない場合	製造工場名：				
	所 在 地：				
所有している 施設及び機械 (自社製造で ない場合は、 製造工場を記 入すること)	種 類		規 格	数量	
	乾 燥	天然乾燥			
		蒸気式			
		低温除湿式			
		高周波減圧式			
		その他			
	注1) 自社乾燥でない場合は、委託乾燥を証明するものを添付すること。 注2) 天然乾燥の場合は、製造記録を添付すること。				
	含水率計				

品質管理	品質管理器具の有無	1 直角定規 3 鋼鉄製巻尺 4 含水率測定器	2 ノギス 3 直定規 5 その他
	品質管理の基準と方法		
	品質管理責任者氏名	ふりがな 氏 名	
	所有する免許、資格等の名称及び、過去に受講した主な研修会名	免許・資格等 研修会名	
県産材であることを証明する方法	生産、加工、流通に係る証明書（売買契約書の写し、送付状、納品書等）による。		
事業者の県産材に対する考え方、今後の経営方針、その他			

# 内 訳 書

工事名: \_\_\_\_\_

工事場所: \_\_\_\_\_

納品先: \_\_\_\_\_

No.	認証 品目	認証品目	樹 種	乾燥	等級	種 類	寸 法 (mm)			数量	単位	材 積	単位	備考
							材長	短辺	長辺					
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
21														
22														
23														
24														
25														
26														
27														
28														
29														
30														
31														
32														
33														
34														
35														
36														
37														
38														
39														
40														
41														
42														
43														
44														
45														
合 計														
	乙種構造材												m <sup>3</sup>	
	甲種構造材												m <sup>3</sup>	
	造作用製材												m <sup>3</sup>	
	壁板												m <sup>2</sup>	
	集成材												m <sup>3</sup>	
	フローリング												m <sup>2</sup>	
	家具・建具・小木工品												m <sup>3</sup>	
	接着重ね梁												m <sup>3</sup>	
	針葉樹下地材												m <sup>3</sup>	
	針葉樹デッキ材												m <sup>3</sup>	
	その他												m <sup>3</sup>	

(様式1-1号)

## 長野県産材証明書

信州木材認証製品センター理事長 殿

(納材業者)

平成 年 月 日

住 所

名 称

代表者氏名

印

下記木材については、長野県内より生産されたものであることを証明します。

## 記

## 1 納品した木材の生産地等

樹種名			
林令			
生産数量			
生産地	市町村	番地	
		林班	小班
森林所有者氏名			

## 2 納品した木材の流通経路

取扱区分 (素材生産、木材販売、1次加工等)	業者名	取扱量
		m <sup>3</sup>
		m <sup>3</sup>
		m <sup>3</sup>

全ての取引を証明する書類の写し(売買契約書、送付状、納品書)を添付すること。

(様式1-2号)

## 信州木材製品認証申請書(針葉樹合板用)

平成 年 月 日

信州木材認証製品センター理事長 殿

住 所  
名 称  
代表者氏名  
TEL / FAX

印

信州木材認証製品として認証していただきたいので、下記のとおり関係書類等を添えて申請します。

## 記

## 1 認証対象品目

製品の種類(認証対象品目)	樹種	数量(m <sup>3</sup> )
その他 針葉樹合板		

## 2 製品出荷予定日

平成 年 月 日

## 3 出荷責任者氏名

## 4 検査を受ける場所の所在地及び名称

## 5 証明書の発行

要 ( 部 ) ・ 不要

## 6 次回以降の検査の簡略化(書類検査)の希望の有無(準会員のみ)

あり なし

## 7 添付書類

(1) 別表(現地検査のみ)

(2) 出荷製品内訳書(1-3号)

(3) 長野県産材証明書(様式1-1号)又は、県産間伐材供給センター協議会の発行する産地証明書等、証明できるもの。

県産間伐材供給センター協議会(TEL:026-226-2504)

(4) JAS製品であることを証明できるもの

(別 表)

認証申請する 製品の名称及 び規格、数量	名称(部材名)	樹種名	規 格	数 量	ロットNo	
	備考：					
認証申請する 目的・名称等	目 的：					
	工事名称：					
	工事場所：					
認証申請する 製品の出荷先 業者名	業 者 名：					
	所 在 地：					
施工業者						
J A S 認 定	種 類		登録番号	登録年月日		
				年 月 日		
				年 月 日		
認証申請する 製品が自社製 造でない場合	製 造 工 場 名：					
	所 在 地：					
所有している 施設及び機械 (自社製造で ない場合は、 製造工場を記 入すること)	種 類		規 格		数 量	
	乾 燥	天然乾燥				
		蒸気式				
		低温除湿式				
		高周波減圧式				
		その他				
	注1) 自社乾燥でない場合は、委託乾燥を証明するものを添付すること。 注2) 天然乾燥の場合は、製造記録を添付すること。					
	含水率計					

品質管理	品質管理器具の有無	1 直角定規 3 鋼鉄製巻尺 4 含水率測定器	2 ノギス 3 直定規 5 その他
	品質管理の基準 と方法		
	品質管理責任者氏名	ふりがな 氏 名	
	所有する免許、資格 等の名称及び、過去 に受講した主な研修 会名	免 許 ・ 資 格 等	研 修 会 名
県産材であることを 証明する方法	信州木材認証製品に他産地の木材を混入させない方法を明記する。		
事業者の県産材 に対する考え方、 今後の経営方針、 その他			

(様式 1 - 3号)

平成 年 月 日

## 内 訳 書 ( 針 葉 樹 合 板 用 )

工 事 名 : \_\_\_\_\_

工 事 場 所 : \_\_\_\_\_

納 品 先 : \_\_\_\_\_

### 長野県産材入荷量 (県産材証明書)

発行年月日	樹 種	発行者 (納材者)	納入材積
計			

### 信州木材認証製品出荷量

出荷日	樹 種	種 類	等 級	板面の 基準	ホルム アルデヒド 放散量基準	寸 法 (mm)			数 量 (枚)	材 積 (m3)	納品先
						厚 さ	巾	長 さ			
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
合 計											
針葉樹合板											

(様式1-1号)

## 長野県産材証明書

信州木材認証製品センター理事長 殿

(納材業者)

平成 年 月 日

住 所

名 称

代表者氏名

印

下記木材については、長野県内より生産されたものであることを証明します。

## 記

## 1 納品した木材の生産地等

樹種名			
林令			
生産数量			
生産地	市町村	番地	
		林班	小班
森林所有者氏名			

## 2 納品した木材の流通経路

取扱区分 (素材生産、木材販売、1次加工等)	業者名	取扱量
		m <sup>3</sup>
		m <sup>3</sup>
		m <sup>3</sup>

全ての取引を証明する書類の写し(売買契約書、送付状、納品書)を添付すること。

(様式2号)

## 信州木材製品認証検査報告書

信認製(製認検)第 号  
平成 年 月 日

殿

信州木材認証製品センター  
理事長 齋藤 敏 印

平成 年 月 日付けで申請のあったこのことについては、信州木材製品認証基準を満たし、信州木材認証製品として認められますので通知します。

(平成 年 月 日付けで申請のあったこのことについては、信州木材製品認証基準を満たさず、信州木材認証製品として認められませんので通知します。)

記

## 1 製品認証申請製品等

製品の種類(認証対象品目)	樹種	数量(m3、m2)	備考
針葉樹構造用製材：乙種(柱等縦使い)			
針葉樹構造用製材：甲種(梁、桁等横使い)			
針葉樹造作用製材(敷居、鴨居等造作)			
針葉樹造作用製材(壁板、家具用原板)			
集成材			
フローリング			
家具、建具、小木工品			
針葉樹接着重ね梁			
その他 針葉樹下地材			
" 針葉樹デッキ材			
計			

## 2 出荷責任者氏名

## 3 工場の所在地及び名称

所在地：

名称：

## 4 検査年月日

平成 年 月 日 曜日

## 5 検査員等

認証検査員：

アドバイザー：

## 7 検査結果

別紙のとおり

## 6 認証ラベル(別添)

- 枚

確認事項：認証ラベルは今回認証された製品のみ貼付してください。  
認証製品以外への貼付、または貴社製品の普及宣伝に用いることはできません。

(様式2号)

## 信州木材製品認証検査報告書(針葉樹合板用)

信認製(製認検)第 号  
平成 年 月 日

殿

信州木材認証製品センター  
理事長 齋藤 敏 印

平成 年 月 日付けで申請のあったこのことについては、信州木材製品認証基準を満たし、信州木材認証製品として認められますので通知します。

(平成 年 月 日付けで申請のあったこのことについては、信州木材製品認証基準を満たさず、信州木材認証製品として認められませんので通知します。)

記

## 1 製品認証申請製品等

製品の種類(認証対象品目)	樹種	数量(m3、m2)	備考
" 針葉樹合板			
計			

## 2 出荷責任者氏名

## 3 工場の所在地及び名称

所在地：  
名称：

## 4 検査年月日

平成 年 月 日 曜日

## 5 検査結果

合格 不合格



# 信州木材認証製品出荷証明書

(製品認証)

平成 年 月 日

殿

信州木材認証製品センター  
理事長 齋藤 敏

下記の木材製品は、平成 年 月 日付けで製品認証申請があり、信州木材製品認証基準に基づき平成 年 月 日に製品認証検査を実施した結果、合格したので証明します。

## 記

- 1 工事名
- 2 工事場所
- 3 施工業者
- 4 納品先
- 5 検査年月日 平成 年 月 日
- 6 生産者  
工場名：  
所在地：  
代表者：  
出荷責任者：
- 7 数量(集計)  
認証製品

製品の区分	樹種	数量	単位
針葉樹構造用製材：乙種(柱等縦使い)			m <sup>3</sup>
針葉樹構造用製材：甲種(梁、桁等横使い)			m <sup>3</sup>
針葉樹造作用製材(敷居、鴨居等造作)			m <sup>3</sup>
針葉樹造作用製材(壁板、家具用原板)			m <sup>2</sup>
集成材			m <sup>3</sup>
フローリング			m <sup>2</sup>
家具、建具、小木工品			m <sup>3</sup>
針葉樹接着重ね梁			m <sup>3</sup>
その他 針葉樹下地材			m <sup>3</sup>
" 針葉樹デッキ材			m <sup>3</sup>
" 針葉樹合板			m <sup>3</sup>
計			m <sup>3</sup> m <sup>2</sup> m

- 8 添付書類  
(1) 信州木材製品認証検査報告書



(様式3号)

## 信州木材製品認証工場申請書

印	区 分
	新 規
	追 加 [ 品目(樹種) ]
	再認証

平成 年 月 日

信州木材認証製品センター理事長 殿

住 所：  
 名 称：  
 代表者氏名：  
 TEL / FAX：

印

信州木材製品認証工場として認証(品目(樹種)追加・再認証)していただきたいので、下記のとおり関係書類等を添えて申請します。

## 記

## 1 認証対象品目

製品の種類(認証対象品目)	樹 種	備 考
針葉樹構造用製材：乙種構造材(柱等縦使い)		
針葉樹構造用製材：甲種構造材(梁、桁等横使い)		
針葉樹造作用製材(敷居、鴨居等造作)		
針葉樹造作用製材(壁板：仕上げ材のみ対象、家具用原板)		
集成材		
フローリング		
家具、建具、小木工品		
針葉樹接着重ね梁		
その他 針葉樹下地材		
" 針葉樹デッキ材		

## 2 工場の所在地及び名称

所在地：  
 名 称：

## 3 品質管理責任者(担当者)または信州木材製品認証技術員の氏名

## 4 添付書類等

- (1) 別表  
 (2) 認証(再認証)を受けようとする製品の写真またはその設計図書  
 (3) 品質管理マニュアル及び製造マニュアル



	種 類		規 格 (メ-カ-名・寸法・容量)	数 量
	所有している 施設及び機械 (自社製造で ない場合は、 製造工場を記 入すること)	乾燥機	蒸気式	
低温除湿式				
高周波減圧式				
その他				
注1) 自社乾燥でない場合は、委託乾燥を証明するものを添付すること。 注2) 天然乾燥の場合は、製造記録を添付すること。				
含水率器具				
認証工場の備 えるべき要件		作業場	広 さ	
	明 る さ			
	保管施設	広 さ		
		明 る さ		
品 質 管 理	品質管理器具の有無	種 類		数 量
		1 直角定規		
		2 直定規		
		3 ノギス		
		4 鋼鉄製巻尺		
		5 含水率測定器		
	6 その他			
	品質管理部門の有無・名称			
品質管理の基準と方法				
品質管理記録の有無				
品質管理の内容				
製 造 管 理	製造基準の有無・名称			
	従業員への周知の方法			

	氏 名	ふりがな		
		氏 名		
	品質管理責任者 又は 認証技術員	所有する免許、資格 等の名称及び、過去 に受講した主な研修 会名	免許・ 資格等	
			研修会名	
事業者の県産材 に対する考え方、 今後の経営方針、 その他				

## 木材 株式会社 自主検査基準

## 1 検査方法

検査は抜取法によって実施し、製造品目及び製造条件が同一と認められる製造荷口をもって1検査荷口とする。試料材の数量は次表による。

## 抽出割合

荷口の本数	乾燥基準 (高周波含水率法)	品質基準・表示基準 及び寸法基準
～ 280	2 5	2 0
281 ～ 500	5 0	4 0
501 ～ 1,000	7 5	6 0
1,001 ～	( 2 5 )	( 2 0 )

(注) 荷口の本数が1,000を超える場合には、500を単位として表に掲げる本数を加算する。

## 2 検査の種類及び内容

検査は、乾燥基準に関わる検査、品質基準に関わる検査、表示基準に関わる検査および寸法基準に関わる検査の4種類に区分して行う。

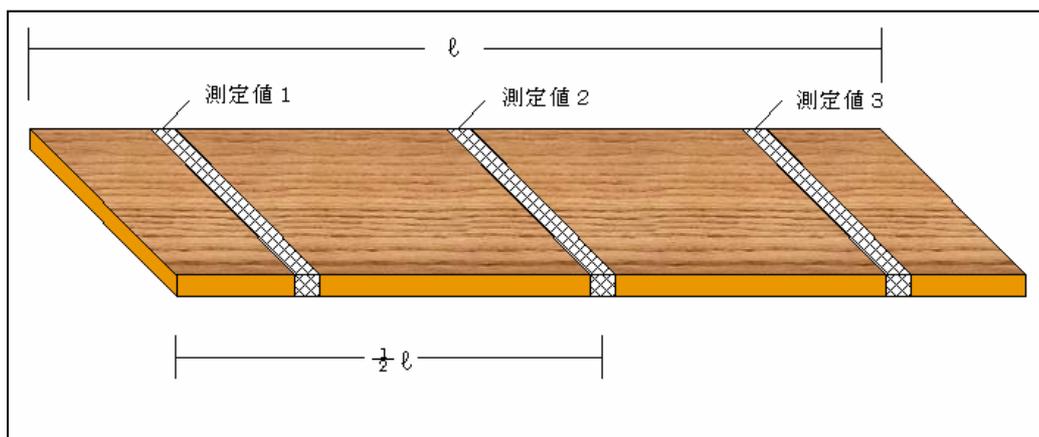
## (1) 乾燥基準に関わる検査

ア 含水率に関わる検査は、認証基準で定める乾燥基準に基づき、高周波含水率計による方法を用いて実施し、第1に規程する試料材数をもって判定する。  
 可否の判定は、試料材の平均値が認証基準で定める乾燥基準の値(以下「乾燥基準値」という。)の範囲で、かつ各試料材の90%が乾燥基準値の範囲にあれば合格とし、90%未満の場合は、平均値が乾燥基準値の範囲にあっても不合格とする。その結果、合格と判定された場合は、その荷口全体を合格とする。

## 高周波含水率による検査

試験材の厚さが40mm以下の場合、第2の2の(1)のアの図の3ヶ所の測定値の平均値をもってその試料材の含水率の値とし、40mmを超えるものにあつては、試料材の表裏各3ヶ所の測定値の平均値をもってその試料材の含水率の値とする。

なお、使用する高周波含水率計は、事前に検量検査測定が終了しており、固有の検量線図が完成しているものでなければならない。



- イ ヤニ滲出防止処理に関わる検査は、認証基準で定める乾燥基準に基づき、第2に規定する試料材をもって判定する。合否の判定は、乾燥時における乾燥記録簿及び温度記録用紙を参考にして行う。
- ウ 不合格と判定された場合は、その荷口の再調整を指示するとともに再調整をしたうえで再検査を行い、合否を判定する。再検査の場合の試料材数は、当初の検査の場合の2倍とする。
- (2) 品質基準に関わる検査
  - ア 品質基準に関わる検査は、認証基準で定める品質基準のそれぞれの項目に基づき、第1に規定する試料材数をもって判定し、その結果、合格と判定された場合は、その荷口全体を合格とする。
  - イ 不合格の場合の処置は第2の2の(3)に準ずる。
- (3) 表示基準に関わる検査
  - ア 表示基準に関わる検査は、表示事項、表示の方法及び表示禁止事項について、第1に規定する試料材数をもって判定し、その結果、合格と判定された場合は、その荷口全体を合格とする。
  - イ 不合格の場合の処置は第2の2の(3)に準ずる。
- (4) 寸法基準に関わる検査
  - ア 寸法基準に関わる検査は、認証基準で定める寸法基準に基づき、第1に規定する試料材数をもって判定し、その結果、合格と判定された場合は、その荷口全体を合格とする。
  - イ 不合格の場合の処置は第2の2の(3)に準ずる。

### 3 検査の記録

選別された製品は、抽出検査を行い記録する。

木材 株式会社 信州木材認証製品製造基準

1 認証製品の品目

該当区分	内訳
	. 構造用製材：乙種構造材（柱等縦使い） . 構造用製材：甲種構造材（梁，桁等横使い）
	. 造作用製材（壁板） . フローリング
	. 造作用製材（敷居，鴨居等造作）
	. 集成材、 . 接着重ね梁
	. 家具・建具・小木工品

2 原料の樹種及び調達方法

樹種	比率	原木				製材品		備考
		自力調達	市場	素材生産業者	末口径	乾燥材	未乾燥材	
カラマツ			北 東 中 伊 飯 木官					
ヒノキ			北 東 中 伊 飯 木官					
アカマツ			北 東 中 伊 飯 木官					
スギ			北 東 中 伊 飯 木官					
その他(針)			北 東 中 伊 飯 木官					
広葉樹			北 東 中 伊 飯 木官					
合計								

3 製造工程と実施方法

製造工程	直営、委託区分	委託先工場名	備考
製 材	直営 委託		
乾 燥	直営 委託		
挽 き 直 し	直営 委託		
表面仕上げ	直営 委託		

4 原材料の管理・区分方法

5 製材加工（委託で行う場合は、委託先の作業工程、使用機械、引取り検査について記載する。）

1) 剥皮方法

該当区分	使用機械
剥皮を行う	
剥皮を行わない	

2) 製材工程

製材は次の手順で行う。

使用機械

機 械 区 分	メーカー	出力・規格等	最大処理寸法	台数

挽立寸法(野物寸法)

ヤニ滲出防止処理、乾燥に伴う材の収縮、さらに切削代（切削・研磨）を仕上げ寸法に付加した寸法を挽立寸法とし、以下のとおりとする。

区分	仕上がり寸法	挽立寸法	備考

3) 同時に製材するその他の製品

6 乾燥処理（委託で行う場合は、委託先の使用機械、乾燥スケジュール、引取り検査について記載する。）

1) 乾燥方法

乾燥は、式乾燥法により蒸煮ヤニ滲出防止処理、乾燥を行い処理する。なお、乾燥時にはトン/m<sup>2</sup>程度の荷重をかけ圧縮状態で行う。また、製材後時間以内に乾燥工程に入ることとし、これを超える場合には乾燥防止のための処理を行う。

使用機械

機 械 区 分	メーカー	規 格 等	最大処理寸法	台数

乾燥スケジュール

区 分	最大温度	乾湿球温度差	運 転 時 間 等

乾燥スケジュールは、材の状況により変更することがある。

2) 養生方法

養生は、屋根つきの養生場所において乾燥後最低日間以上行う。

3) 仕上り含水率

仕上がり含水率は、心持材で%、心去り材で%とする。

7 挽き直し処理

ヤニ滲出防止処理、乾燥等によって生じた材の変形、狂い等を矯正するため、下記のとおり挽き直し処理を行う。

使用機械

機 械 区 分	メーカー	出力・規格等	最大処理寸法	台数

挽き直し寸法

区分	仕上がり寸法	挽き直し後の寸法	備考

8 仕上げ加工（委託で行う場合は、委託先の作業工程、使用機械、引取り検査について記載する。）

表面仕上及び寸法仕上げ方法

使用機械

機 械 区 分	メーカー	規 格 等	最大処理寸法	台数

仕上げ寸法

区分	仕上がり寸法	備考

9 品質管理方法

自主検査方法

製品の自主検査は、の時点で別紙自主検査基準により行う。

等級区分方法

目視等級区分は（ 行う 行わない ）

表示方法

出荷証明書へ下記の表示を行う。

製品の保管方法

10 納品に係る期間

注文があつてから納品できるまでの最低日数は日間である。

**この難形によりがたい場合は、適宜修正し作成すること。**

(様式4号)



# 信州木材製品認証工場認証書

平成 年 月 日

殿

信州木材認証製品センター  
理事長 印

信州木材製品認証工場申請のあったこのことについて、信州木材製品認証実施要領第14に基づき下記のとおり認証します。

記

1 認証番号

2 認証対象品目

品 目 名	樹 種 名

3 工場の名称及び所在地

名 称 :

所在地 :

4 信州木材製品認証技術員の氏名

5 認証書の有効期間

認証日から平成 年 月 日

(様式5-1号)

## 信州木材認証製品出荷証明書交付申請書

平成 年 月 日

信州木材認証製品センター理事長 殿

(認証工場) 認証番号 : N- 番  
 会社名 :  
 所在地 :  
 代表者 :

印

下記の木材製品は、当社が信州木材製品認証基準に基づき製造した製品であり、自主検査に合格しましたので、信州木材認証製品出荷証明書を交付していただきたいので、関係書類等を添えて申請します。

## 記

- 1 工事名
- 2 工事場所
- 3 施工業者
- 4 納品先業者
- 5 認証技術員名
- 6 県産材産地証明

市場の場合(証明書様式1-1)		素材生産業者の場合(証明書様式2)	
日付	証明書番号	日付	素材生産業者名

- 7 数量(集計)

認証製品

製品の区分	樹種	数量	単位
針葉樹構造用製材：乙種(柱等縦使い)			
針葉樹構造用製材：甲種(梁、桁等横使い)			
針葉樹造作用製材(敷居、鴨居等造作)			
針葉樹造作用製材(壁板、家具用原板)			
集成材			
フローリング			
家具、建具、小木工品			
針葉樹接着重ね梁			
その他 針葉樹下地材			
〃 針葉樹デッキ材			
計			

- 8 添付書類

- (1) 内 訳：別紙「内訳書」のとおり  
 (2) 乾燥証明書：別紙「乾燥証明書」のとおり

乾燥を委託した場合のみ添付

(様式5-1-1号)

# 内 訳 書

工事名: \_\_\_\_\_

工事場所: \_\_\_\_\_

納品先: \_\_\_\_\_

No.	認証 品目	認証品目	樹 種	乾燥	等級	種 類	寸 法(mm)			数量	単位	材 積	単位	備考
							材長	短辺	長辺					
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
21														
22														
23														
24														
25														
26														
27														
28														
29														
30														
31														
32														
33														
34														
35														
36														
37														
38														
39														
40														
41														
42														
43														
44														
45														
合 計														
	乙種構造材												m <sup>3</sup>	
	甲種構造材												m <sup>3</sup>	
	造作用製材												m <sup>3</sup>	
	壁板												m <sup>2</sup>	
	集成材												m <sup>3</sup>	
	フローリング												m <sup>2</sup>	
	家具・建具・小木工品												m <sup>3</sup>	
	接着重ね梁												m <sup>3</sup>	
	針葉樹下地材												m <sup>3</sup>	
	針葉樹デッキ材												m <sup>3</sup>	
	その他												m <sup>3</sup>	

(様式5-1-3号)  
(別添2)

# 乾燥証明書

平成 年 月 日

信州木材認証製品センター理事長 殿

(乾燥工場) 住 所:  
名 称:  
代表者氏名:

印

下記木材については、当社において乾燥したことを証明します。

記

工 事 名		
工 事 場 所		
施 工 業 者		
乾燥製品納品先		
使用乾燥機名		
乾燥実施日		
乾燥終了日		
乾燥温度		
含水率		
乾燥技術者		
樹 種 名	規 格 ・ 仕 様	数 量

(様式5-2号)



SWCP 番

## 信州木材認証製品出荷証明書

平成 年 月 日

殿

信州木材認証製品センター  
理事長 齋藤 敏

下記の木材製品は、信州木材認証工場が信州木材製品認証基準に基づき製造した製品であることを証明します。

記

- 1 工事名
- 2 工事場所
- 3 施工業者
- 4 納品先
- 5 一 認証 : N-  
生 認証工場名:  
産 所在地:  
者 代表者:  
一 認証技術員:
- 6 数量(集計)  
認証製品

製品の区分	樹種	数量	単位
針葉樹構造用製材：乙種（柱等縦使い）			m <sup>3</sup>
針葉樹構造用製材：甲種（梁、桁等横使い）			m <sup>3</sup>
針葉樹造作用製材（敷居、鴨居等造作）			m <sup>3</sup>
針葉樹造作用製材（壁板、家具用原板）			m <sup>2</sup>
集成材			m <sup>3</sup>
フローリング			m <sup>2</sup>
家具、建具、小木工品			m <sup>3</sup>
接着重ね梁			m <sup>3</sup>
その他（針葉樹下地材）			m <sup>3</sup>
その他（針葉樹デッキ材）			m <sup>3</sup>
計			m <sup>3</sup> m <sup>2</sup>

- 7 添付書類  
(1)内 訳：別紙「内訳書」のとおり

(様式5-2-1号)

平成 年 月 日

# 内 訳 書

工 事 名 : \_\_\_\_\_  
 工 事 場 所 : \_\_\_\_\_  
 納 品 先 : \_\_\_\_\_

No.	認証品目	樹種	乾燥	等級	種類	寸法 (mm)			数量	単位	材積	備考
						材長	短辺	長辺				
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												
31												
32												
33												
34												
35												
36												
37												
38												
39												
40												
41												
42												
43												
44												
45												
46												
47												
48												
49												
50												
合 計												
	乙種構造材										m <sup>3</sup>	
	甲種構造材										m <sup>3</sup>	
	造作用製材										m <sup>3</sup>	
	壁板 (家具用原板含む)										m <sup>2</sup>	
	集成材										m <sup>3</sup>	
	フローリング										m <sup>2</sup>	
	家具・建具・小木工品										m <sup>3</sup>	
	接着重ね梁										m <sup>3</sup>	
	針葉樹下地材										m <sup>3</sup>	
	針葉樹デッキ材										m <sup>3</sup>	
											m <sup>3</sup>	

(様式5-3号)

# 信州木材認証製品出荷証明書交付申請(針葉樹合板用)

平成 年 月 日

信州木材認証製品センター理事長 殿

申請者名:

所在地:

代表者:

印

下記の工事において信州木材認証製品の針葉樹合板を使用しましたので証明して下さい。

## 記

- 1 工事名
- 2 工事場所
- 3 施工業者
- 4 納品先
- 5 購入先
- 6 合板メーカー名
- 7 数量(集計)

認証製品

製品の区分	樹種	数量	単位
その他 針葉樹合板			
計			

## 8 添付書類

- (1) 内 訳: 別紙「内訳書」のとおり
- (2) 信州木材認証製品の購入先及び販売先がわかる書類  
(納品書、出荷伝票の写し等)

## 内 訳 書 ( 針 葉 樹 合 板 用 )

工 事 名 :

工 事 場 所 :

納 品 先 :

No.	樹 種	種 類	等 級	板面の 基準	ホルム アルデヒド 放散量基準	寸 法 (mm)			数 量 (枚)	材 積 (m <sup>3</sup> )	備 考
						厚 さ	長 さ	幅			
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
26											
27											
28											
29											
30											
31											
32											
33											
合 計											
針葉樹合板											

(様式5-4号)

SWCP 番



# 信州木材認証製品出荷証明書

(針葉樹合板)

平成 年 月 日

殿

信州木材認証製品センター  
理事長 齋藤 敏

下記の木材製品は、信州木材認証製品であることを証明します。

記

- 1 工事名
- 2 工事場所
- 3 施工業者
- 4 納品先
- 5 工場名：  
製造所在地：  
者代表者：  
出荷責任者：
- 6 数量(集計)

認証製品

製品の区分	樹種	数量	単位
その他(針葉樹合板)			m <sup>3</sup>
計			m <sup>3</sup>

- 7 添付書類

(1)内 訳：別紙「内訳書」のとおり

## 内 訳 書 ( 針葉樹合板用 )

工 事 名 :

工 事 場 所 :

納 品 先 :

No.	樹 種	種 類	等 級	板面の 基準	ホルム アルデヒド 放散量基準	寸 法 (mm)			数 量 (枚)	材 積 (m <sup>3</sup> )	備 考
						厚 さ	長 さ	幅			
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
26											
27											
28											
29											
30											
31											
32											
33											
合 計											
針葉樹合板											

(様式6号)

# 消費者相談報告書

平成 年 月 日

信州木材認証製品センター理事長 殿

住 所  
名 称  
代表者氏名

印

当工場は、消費者から認証製品に対する相談（苦情）等を受付け対応したので、その内容等について、下記のとおり報告いたします。

## 記

1 相談（苦情）を受付けた日時  
平成 年 月 日

2 相談（苦情）を受けた製品

製品の種類	樹 種	数量(m <sup>3</sup> 、m <sup>2</sup> )

3 相談（苦情）内容

4 認証工場の苦情に対する対応（製品の回収・交換等）

5 原因とその改善策

(様式7号)

## 信州木材製品認証工場事項変更届

平成 年 月 日

信州木材認証製品センター理事長 殿

住 所  
名 称  
代表者氏名

印

当工場は、平成 年 月 日付けをもって信州木材製品認証工場として認証されましたが、その後認証工場書の記載事項について変更がありましたのでお届します。

### 記

1 工場の名称及び所在地

(1) 名 称

(2) 所在地

2 変更年月日

平成 年 月 日

3 変更の内容

変更前：

変更後：

4 変更の理由

(様式8号)

## 信州木材製品認証工場書再交付願

平成 年 月 日

信州木材認証製品センター理事長 殿

住 所  
名 称  
代表者氏名

印

当工場は、平成 年 月 日付けをもって信州木材製品認証工場として認証され認証工場書の交付を受けましたが、下記の理由により認証工場書の再交付をお願いします。

### 記

1 工場の名称及び所在地

(1) 名 称

(2) 所在地

2 理 由

(注) 汚損した場合は、当該認証書を添付すること。

(様式9号)

# 信州木材製品認証工場取消申請書

平成 年 月 日

信州木材認証製品センター理事長 殿

住 所  
名 称  
代表者氏名

印

当工場は、平成 年 月 日付けをもって信州木材製品認証工場として認証されましたが、下記の理由により認証の取消申請をいたします。

記

## 1 認証対象品目

品 目	樹 種	備 考

## 2 工場の所在地及び名称

所 在 地 :

名 称 :

認証工場番号 :

## 3 取消の理由

(様式10号)

# 信州木材製品認証工場取消通知書

番 号  
平成 年 月 日

殿

信州木材認証製品センター  
理事長 印

貴工場は、平成 年 月 日付けをもって信州木材製品認証工場として認証（再認証）され認証工場書の交付を受けましたが、下記の理由により認証（再認証）を取消しましたので通知します。

## 記

### 1 認証対象品目

品 目	樹 種	備 考

### 2 工場の所在地及び名称

所 在 地：

名 称：

認証工場番号：

### 3 取消の理由

(様式11号)

検査員記録表

## 製品検査・現地調査・現地検査記録表

日 時	平成 年 月 日 曜日 時 分から 時 分
工場名	
検査場所	
説明者	
検査者	
アドバイザー	
出席者	県(信州の木) :
	地方事務所( ) :
	事務局 :
	オブザーバー :

樹種 / 製品	品目	樹種	製品名
寸 法	×	×	(mm)
製品状況			
乾燥状況			
その他			

	試験材	厚さ		幅		長さ		高周波含水率計( )				全乾重量法		備考	
		mm	適否	mm	適否	mm	適否	(1)	(2)	(3)	平均	適否	数値		適否
乾燥・加工基準	1														
	2														
	3														
	4														
	5														
	6														
	7														
	8														
	9														
	10														
	11														
	12														
	13														
	14														
	15														
	16														
	17														
	18														
	19														
	20														
	MIN														
	MAX														
	AVG														
品質基準	節 及 び 集 中 節														
	丸 身														
	木 口 貫 通 割 れ														
	材 面 貫 通 割 れ														
	幅 反 り														
	曲 り														
	ね じ れ														
	カケ・キズ・穴														
腐 朽															
その他の欠点															
ヤニ滲出防止処理(カマツ・アマツ)															
板類関係	仕上げ														
	カケ防止の面取り														
	補修														
備考															

(様式12号)

## 製品検査・現地調査・現地検査報告書

平成 年 月 日

信州木材認証製品センター理事長 殿

信州木材製品認証検査員

信州木材製品認証実施要領に基づき、下記のとおり検査を実施したのでご報告いたします。

## 記

## 1 調査工場

所在地:

名称:

代表者名:

2 調査年月日 平成 年 月 日 曜日 時 分から 時 分

## 3 調査対象品目

品 目	樹 種	備考
針葉樹構造用製材：乙種（柱等縦使い）		
針葉樹構造用製材：甲種（梁、桁等横使い）		
針葉樹造作用製材（敷居、鴨居等造作）		
針葉樹造作用製材（壁板、家具用原板）		
集成材		
フローリング		
家具、建具、小木工品		
針葉樹接着重ね梁		
その他 針葉樹下地材		
" 針葉樹デッキ材		

## 4 調査場所

## 5 調査検査者

検査員:

アト・ハ・イザ・:

## 6 工場説明者

7 出席者 県（信州の木 ）:

地方事務所（ ）:

事務局:

オブザーバー:

8 調査の内容 別添調査表のとおり

(様式12-1号)

## 工場認証申請 工場調査表(総括)

## 1 検査日時・工場名・検査員等

日 時	平成 年 月 日 曜日 時 分から 時 分
工場名	
検査場所	
説明者	
検査者	
アドバイザー	
出席者	県(信州の木 ) :
	地方事務所( ) :
	事務局 :
	オブザーバー :

## 2 品目

	認証品目名	樹種名
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)		
(7)		
(8)		
(9)		
(10)		

## 3 検査方法

--

## 4 工場の概要

項目		評価 (、、×)	内容			
生産 基盤 及び 品質 管理 体制	生産及び管理の状況					
	製品製造状況					
	製材工程					
	乾燥工程					
	加工・仕上げ工程					
	機械類の状況					
	所有している機械施設等			機械名	メーカー名	数量
	整備は適当か					
精度は保たれているか						
安全に稼働しているか						

生産基盤及び品質管理体制	品質管理の状況				
	品質管理器具等		機械名	メーカー名	数量
			含水率計 ( DELTA )	エース機械産業製	
			" ( WAKARL )	フソー製	
			" ( MOKO )	ケツ科学研究所製	
			" ( HM8-WS25型 )	(株) 菊川鉄工所	
			直定規		
			直角定規		
			ノギス		
			鋼鉄製巻尺		
	品質管理担当者				
	記録を保存しているか				
	作業場の状況				
	スペースは適当か				
	整理・整頓されているか				
安全管理はできているか					
明るさは適当か					
保管施設類の状況					
品質・規格に影響ないか					
スペースは適当か					
乾燥・加工・品質	製品の状況				
	乾燥				
	含水率				
	加工技術				
	寸法精度				
	抜け節等処理				
	材面処理				
	品質				
	節				
	割れ				
	丸み・曲がり・ねじれ				
	幅反り・縦反り				
	その他				
その他 ( 精度向上の工夫等 )					